

御前山ビオトープ通信

平成25年4月20日

第40号

発行：御前山ダム環境センター

編集：NPO「美しい田園21」清野

メール：denen21@hb.tp1.jp

ホームページ：<http://w01.tp1.jp/~a071771011/>



【案内図】

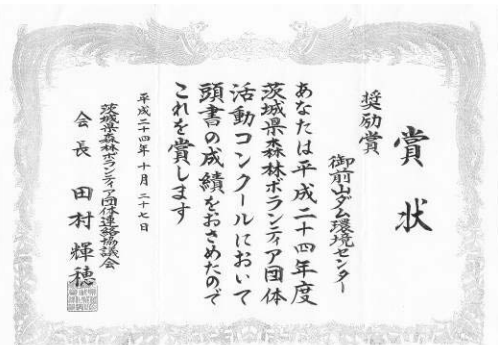


目次

- 1 森林ボランティア団体活動コンクール奨励賞
- 2 TOTO 水環境基金贈呈式
- 3 平成25年度第一回育成活動

1、森林ボランティア団体活動コンクール奨励賞

茨城県森林湖沼環境税を活用して、ビオトープ周辺の間伐作業など森づくり活動に取り組んだことなどが評価され、平成24年10月27日付けで茨城県森林ボランティア団体連絡協議会から奨励賞が送られました。



2、TOTO 水環境基金贈呈式

御前山ダム環境センターは平成25年度活動に関連して「TOTO 水環境基金（第8回）」の活用を申請したところ、採択の回答がありました。3月4日（月）茨城県桜川市のTOTO ウォッシュレット茨城工場において贈呈式があり、長山会長、国安・青木副会長と清野顧問が出席しました。



御前山からはちょうど南西の反対側で直線距離は近く、山越えすれば一時間かかりません。

当日は冒頭、会議室で挨拶名刺交換、会社概要の説明受けを、その後事業所の製造工程を案内してもらいました。ラインに様々な工夫がなされており、工場働く人の約7割が女性とのことでした。



昼食後に社内の全体会があり、社員の表彰などに続いて「TOTO 水環境基金」の贈呈式があり工場長から、長山会長に目録が手渡されました。

その後、長山会長から御前山環境センターの取り組みがスライドを活用して紹介されました。平均年齢が30歳以下と若い社員が多く、基金提供だけでなく研修を兼ねて、社員を現地の活動にも参加させたいとのことでした。

同じ水環境の改善につながる活動しており、水源地である御前山と交流する意義は大きいと思います。

TOTO ウォッシュレットテクノ茨城工場（桜川市）

3、平成25年度第一回育成活動

4月16日（火）本年度第一回目のボランティアによる育成活動を行いました。

当日は山桜もまだ咲き残り、晴天の穏やかな天気でした。午前9時半にはボランティアなど約80数名がダム管理所前に集合しました。

今回は、御前山小学校6年生約30名が、地元

区長さんなどの手伝いを受けながら、ダム直下右岸に山桜、エノキの苗を約50本植栽しました。6年生は昨年、ビオトープ田んぼやダム監査廊見学などで何度か来ており、今回の記念植樹も小学校の大切な思い出にしてほしいと思います。

ボランティアは御前山ビオトープに移動し、3班に分かれて作業を行いました。

第1班は倒れた藤棚の修復作業です。今回はユニックを持ち込み支柱を復帰補強したので、構造的にはかなりしっかりとしました。

第2班は道路周辺の清掃、草刈りなどを行いました。枯れ枝などが散乱し200mにも渡る沿道の清掃は人海戦術で対応するしかありません。

第3班は池流入口の改修作業で、土砂を撤去すると溪流の水が勢いよく流れだしました。問題は洪水の度に土砂で詰まってしまうことから、どう安定的に取水を確保できるかということです。山間溪流での取水方式である「チロル方式」などを今後検討することにしました。国営事業所を



御前山小6年生の植樹



藤棚の修復作業



沿道清掃、草刈り



取水口の改修

始め農業土木専門家の技術力に期待しましょう。

各班とも作業は順調に進み昼前には終了しました。三々五々ダム駐車場へ戻り、天気も最高なのでダム天端で山桜を観ながらの昼食としました。4月の人事異動もあり、新しいメンバーも多く楽しい交流の機会となりました。

常陸大宮市広報誌の連載

御前山ビオトープ周辺の植物等



双子葉離弁花 バラ科 サクラ属
花期3～4月

日本野生サクラの代表で、種名も「jamasakura」と国際的名称です。この時期、御前山ダム周辺ではエドヒガン、ヤマザクラ、カスミザクラが混在しますが、中でもヤマザクラは主役です。明治になってソメイヨシノが普及するまでサクラといえばこのヤマザクラを指し、万葉集ができた時代よりもっと古い時代から日本を代表するサクラといえます。

(写真・データ提供 御前山ダム環境センター)



対岸の山桜を背景にダム天端に集合